



連載 レッスンのお悩み、一緒に考えます！

聞いて！まるみえ先生

ほこあほこピアノ教室主宰 中西美江

今回のお悩みは…

「レッスンで全く喋らない生徒さん」

お悩み内容

もうすぐ5才のA子ちゃん、レッスンで全く喋りません。リズム打ち、ピアノを弾く、音符の色塗り等、無言でもできることで指導しています。手先はとても器用、こちらの指示は問題なく理解でき、レッスンの準備と片付けも1人でできます。

4年生の長女さんのレッスン時は、お母様と楽しそうに喋りながら折り紙やお絵かきしています。終わりのご挨拶「ありがとうございました」は姉の横に立ち、笑顔なく視線を合わせず、おじぎもしません。お母様によると、幼稚園でも先生とはお話できず、気を許したお友達にのみ笑顔で接するそうです。また長女さんも幼稚園に馴染むまでに時間がかかったそうです。昔でしたら極度の内弁慶が恥ずかしがり屋と見なされたかもしれません。

A子ちゃんの個性と捉えて笑顔で接するよう心がけています。何かアドバイス等ありましたらよろしく願いいたします。(C.O先生)

今のままの接し方で十分ではないでしょうか？保護者さまの信用と安心があるからこそ、A子ちゃんもそれを察知してレッスンをきちんとこなしていると推察しますし、先生の教室が安心できる場所だからこそ、お家ではない所で、しかもピアノの先生という家族の人以外のいる場所で、笑うこともお話もできているのですから、すご〜く良い関係が築けていらっしゃると思います。

私の教室にもA子ちゃんタイプの生徒さんがいますので、話さなくても良いよう「指さし」だけで答えられるような質問などを行っています。そのような状況でも、レッスンを受けてくれて、その次も

来てくれることから、ピアノレッスンが楽しいと思ってくれていると思っています。

ピアノ教室は、生徒さんの全てを受け入れて、まずはOK！を出す場所と考えています。それはつまり、「生徒さんの全てを受け入れる。そして持てる全てを伝える」ことだと思っています。

先生という存在は、生徒さんのありのままを受け入れるだけで良いと思うのです。生徒さんに求めることって何もないと考えております。もし先生が「私はこれだけA子ちゃんの為に心を砕いて接してるんだよ」とか、「挨拶はきちんと欲しい」と考えていらっしゃるのでしたら、その思いはこれまで通り、ちょっと横に置いておかれたら良いと思います。

今の指導状況に迷いがあるかも知れませんが、ご自身の指導方針に自信を持って頂きたいです。評価を他の人に委ねるのではなく、自分が信じて行うことに対しては、自分がきちんと「やるやん私!」「さすが私!」と認めてください。自分しか自分のやってる細かいところは評価できませんから。

今回のお話をお聞かせ頂いて、C.O先生は生徒さんに寄り添い、保護者さまからの信用と安心を得ている、最高のレッスンをされていると思いました。どうぞ今まで通り、A子ちゃんが安心して通える教室であってくださいませ。

まるみえ先生近況：

来年2月の発表会に向けて、専用HPが公開されました！31回目となる発表会のテーマは、なんと先生のオリジナル・ストーリー！ぜひご覧ください!!



●中西美江（なかにし・みえ）プロフィール
奈良・新大宮ほこあほこピアノ教室主宰。生徒さんの目の前で書くレッスンをして30年。ポピュラー、ジャズなどを取り入れた独自のカリキュラムでレッスンを行う。「マイピアノ楽譜」「教室運営法」「体験レッスン成功法」「続けることのできるレッスン法」をテーマに、各地で講座開催中。

中西美江の
まるみえピアノ
レッスン
ホームページ⇒



聞いて！
まるみえ先生
お悩み受付
フォーム⇒

